

# 春播き栽培に適したエンバク品種と栽培および収穫・調製法

畜産試験場

## 1 技術の要約

エンバク超極早生品種を3月下旬に播種することにより、6月初めに開花期収穫が可能で、輸入乾草のプレミアムグレードに匹敵する高栄養のロールバールサイレージが調製できます。

## 2 技術の内容

早春にエンバクを播き、6月初めに収穫する方法を確立しました。

適品種は準高冷地（標高 500～900m）が「九州 14 号」、低暖地（標高 500m 以下）が「さきがけ（九州 15 号）」です。施肥・耕起後、3月下旬に 10a あたり種子を 10kg 散播し、ディスクハ口かロータリの浅がけ等により種子と土壌を混和し、鎮圧します。

6月初めに開花期に達し、収穫適期となります。モアコンディショナで刈ることにより、迅速に予乾でき、反転作業と集草作業を行わずに、収穫が可能です。ロールバール体系またはフォーレージハーベスタと細断型ロールバールを組み合わせた作業体系とも対応可能です。乾物収量は 10a あたり 600kg 前後で、収穫後にはソルガムやトウモロコシを栽培でき、高品質な自給飼料の増産が期待できます。

\*プレミアムグレード：購入輸入乾草のうち、栄養価が高く、品質が最も高い乾草のこと。



モアコンディショナによる刈取り

モアコンディショナで刈取り、反転を行わずに調製したエンバクロールバールサイレージの品質

	ロールバールサイレージ	細断型ロールバール
水分 (%)	58.4	64.9
pH	5.1	4.1
乳酸 (%FM)	1.53	1.50
酢酸 (%FM)	0.34	0.76
プロピオン酸 (%FM)	ND	0.13
酪酸 (%FM)	0.03	ND
VBN (%TN)	3.9	2.4
V-SCORE	97	96

VBN：揮発性塩基態窒素

V-SCORE：80点以上を発酵品質良と判定

ND：検出しない